

事務連絡
令和4年6月28日

各競技団体事務局長様
各競技団体国体担当者様

公益財団法人北海道スポーツ協会
事務局長 高間亨
(職 印 省 略)

国民体育大会におけるアンチ・ドーピング教育の義務化について

平素、当協会の諸事業に対し、特段のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、標記の件について別添写しのとおり公益財団法人日本スポーツ協会より通知がありましたので関係資料を送付いたします。

詳細は別添のとおりですが、国体開催基準要項細則が改定され、参加資格に「本大会又は冬季大会参加前の1年以内に日本スポーツ協会が指定するアンチ・ドーピング教育を受講した者であること」が追記されました。

つきましては、本件について監督・各選手及び関係者に対し周知徹底いただきますようお願い申し上げます。

記

【概要】

1. 義務化の時期

令和4年度開催の第77回国体(栃木県)、特別国体冬季大会(青森県、岩手県)については努力義務で、令和5年度開催の特別国体(鹿児島県)から完全義務化となります。

2. 対象者

選手、監督、本部役員帯同のスポーツドクター、アスレティックトレーナー及び少年種別に出場する選手の保護者

3. 受講内容

日本スポーツ協会(JSPO)、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)、日本オリンピック委員会(JOC)、中央競技団体、都道府県体育・スポーツ協会、JSPO加盟関係スポーツ団体が主催するアンチ・ドーピングに関する研修会・講習会など ※詳細は別添資料参照

4. 教育履歴確認および国体参加申込について

①教育履歴確認

国体出場前1年以内(国体参加申込システムへのエントリー前)の教育歴の有無を各競技団体で確認し、教育歴がない場合は参加申込前までにアンチ・ドーピング教育を受講する。
また、教育履歴を該当者本人が下記書面に記載し、国体期間中は常時携帯する。

・選手および少年種別に出場する選手の保護者

…「国民体育大会ドーピング検査同意書(国民体育大会選手カード)」

・監督、本部役員帯同のスポーツドクター、アスレティックトレーナー

…「国民体育大会アンチ・ドーピング教育履歴確認カード」

②国体参加申込について

教育履歴を確認した後に国体参加申込システムから参加申込を行います。

各競技団体でシステム入力済みの選手・監督は教育歴があるものと判断し、本会が改めて受講歴の確認はしませんので、各競技団体にて確実な受講の徹底及び教育歴の確認をお願いいたします。

※令和5年度開催の国体から国体参加申込システムにアンチ・ドーピング教育履歴確認欄が追加される予定です。

公益財団法人北海道スポーツ協会 競技スポーツ課:石亀 TEL:011-820-1704 FAX:011-833-0705 E-mail:k-ishikame@hokkaido-sports.or.jp
